

博士人材の産業界への入職経路の多様化に関する勉強会の設置について

1. 趣旨

昨今、日本の産業界にイノベーションをもたらし、国際競争力を高めるための原動力として、高度専門人材、特に博士人材が注目を浴びている。日本の産業界が更なる発展を遂げるためには、多くの優秀な博士人材が産業界で活躍することが必要である。

一方で、博士人材は進路としてアカデミアを志向することが多く、産業界に就職する人数は少ない。またこれまで、大学から輩出される博士人材が少なく、そのうち産業界を志向する人材も少ないため産業界は採用できないのではないか、あるいは、産業界が博士人材を採用しないためにロールモデルが少なくなり、産業界を志向する学生の博士課程進学を踏みとどまらせるのではないかと議論が幾度となく繰り返されてきた。

他方で、今般、文部科学省において博士課程学生への手厚い経済的支援の措置により、博士課程進学者の増加が目指されていることから、今後数年間で、増加した博士号取得者の進路について、これまでと違った状況となる可能性がある。博士人材の活躍の場が、産業界に一層拡大するためには、博士人材は、就職先として産業界も視野に入れる必要がある。産業界もまた、博士人材の高い専門性と仮説立案・検証・遂行力を取り入れ、事業環境の変化に応じて自社の事業戦略を革新することを目的に、博士人材を積極的に採用する必要がある。

その一方で、企業にとって博士人材は、採用を明確に企図したうえで採用方法の工夫をしないと採用が困難な存在である。だが、一度博士人材を採用すると、例えば自社業務との親和性が明らかになり、博士人材の積極的な採用につながった例もある。こうした博士課程学生の採用にあたっては、学部生等とは違ったアプローチが学生側・企業側双方に求められる。具体的には、博士課程学生については、その専門性や、その研究のアプローチなどのこれまでの経験・結果を適切に表現・評価することなどが求められ、採用プロセスなども異なるものを用意することが効果的であると想定される。

だが、これまで、学部生等向けのものと比較して、博士課程学生等を対象とした民間就職サービスは広がってこなかった。一方、一部スタートアップ企業等において、こうした博士課程学生を主眼としたサービスも出始めている。産業界に就職する博士人材の増加と採用企業の増加のため、博士人材にとっては博士人材を採用したい企業への、企業にとっては企業に就職したい博士人材へのアクセスポイントとなる民間就職サービスの充実が、博士人材の産業界への就職を一層後押しする一つの手段であると考えられる。

以上を踏まえ、博士課程学生を対象とした民間就職サービスの現状を把握し課題を抽出するとともに、課題に対する対応策の検討等を行うことにより、博士人材の産業界への入職経路の多様化と産業界に就職する博士人材の増加に向けた施策の検討につなげることを目的として、博士人材の産業界への入職経路の多様化に関する勉強会（以下「勉強会」という。）を設置する。

2. 実施方法

勉強会のメンバーは、（資料２）のとおりとする。事務局は必要があると認めるときは、メンバーの追加又は関係者の出席を求めることができるものとする。

3. 議事の取扱い

率直かつ自由な意見交換を確保するため、勉強会は非公開とする。議事要旨に関しては、メンバー、出席者の了解を取った上で、経済産業省のＨＰにて原則として公開する。資料の取扱いについては、事務局作成資料については原則として公開するものとする。メンバーの提供資料等、事務局作成資料以外の資料についても、原則として公開するものの、機密情報等が含まれる場合には、資料提出者と相談の上、扱いを決定する。

4. その他

勉強会の庶務は、文部科学省の協力を得て、経済産業省産業技術環境局大学連携推進室において処理する。